

脳ドックが始まります

脳疾患は悪性腫瘍、心疾患に次いで第3番目の死因となっています。医療が発達したこの時代においても、脳の疾患は恐ろしいものです。しかしながら脳の疾患は早期に発見すれば未然に防げる事もわかってきています。稲沢市民病院では平成14年12月より最新型のMRIが導入され、脳の診断も容易になりました。今までより詳細な病変の評価が可能となり、早期にいろいろな病気を診断できるようになりました。今回それを機に脳ドックを始めることになりました。この地域での脳疾患を減らすために貢献していききたいと思います。

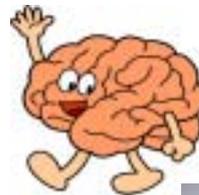
脳ドックで主に見つかる病変は大きくわけて2種類あります。脳血管障害と脳腫瘍です。脳血管障害には、脳梗塞、脳動脈瘤などがあります。脳梗塞は脳の血管が詰まるのが原因です。無症状であることが多いのですが、進行すると手足のしびれや麻痺が生じます。脳動脈瘤は脳の血管にできたコブです。それがあるだけでは無症状ですが、何かの拍子で破れると突然発症します。多くは頭痛で発症し、重症の場合は生命に関わります。また脳腫瘍は小さいものはほとんどが無症状です。しかし大きくなって脳を圧迫するようになると、手足の麻痺などの症状が出てきます。脳腫瘍は小さいものだと容易に摘出できますが、大きくなると摘出が困難になります。これらの病気が脳ドックで見つければ、発症する前に未然に防ぐことが可能となります。

さらに今回は脊髄ドックもあわせて行います。脊髄は脳とつながって、背骨の中を走

っている中枢神経です。脳外科を受診する人の多くは、頭が痛いとか、手足がしびれるといった方です。脳疾患を心配されて受診されているのですが、特に手足のしびれでは95%以上の原因が脊髄の疾患によるものです。ほとんどが加齢性の骨の変形により脊髄が圧迫されるもので、頰椎症、腰椎症などが主な原因です。これらは早期に治療すれば症状が消失するため、重症になる前に治療することが必要です。脊髄疾患は慢性的に進行するので、本人に自覚がないことも多く見られます。脊髄ドックを行うことにより、ゆっくりと進行していてわかりづらい脊髄疾患を見つけることが可能です。

脳ドックの検査では痛みはまったくありません。MRIの中で20~30分寝ているだけです。その間にすべての検査が終わります。以前は造影剤を点滴しないとわからなかった脳血管の撮影まで行うことが可能です。親族や知人が脳の疾患になられ心配な方、また最近何となく手足がしびれたり、使いづらかったり、腰が重かったりする方、一度脳ドックを受診してみてください。

(脳神経外科 丹羽政宏)



日本脊髄外科学会認定の脊髄基幹病院 (トレーニングセンター)に、認定！！

このたび日本脊髄外科学会では脊髄外科指導医および脊髄基幹病院(トレーニングセンター)の審査を行い、脳外科の山田が、全国29人指導医の一人に、また稲沢市民病院は全国12基幹病院の1つとして認定されました。名古屋市・尾張地方では当院のみが認定を受けたわけです。これは過去10年にわたり多くの頸椎・腰椎疾患の手術を行い、特に最近では年間300例以上の手術を行い、良好な手術成績を得た結果が評価されたものでしょう。

脊椎疾患のため手足のしびれや痛みなどの症状を持っている方は非常に多く、治らないものとあきらめている方も少なくないようです。また頸椎や腰椎の手術を受けると手足が麻痺して車椅子になるとの偏見を持っている方も多いように思われます。今後さらに手術結果をよくすることにより、これらの偏見を取り除くように努力しなければなりません。

頸椎症・椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症などの脊椎疾患の治療は手術的治療のほか、軽症ではリハビリテーションや薬物療法などで改善することもありますが、時期を失すると手術を行っても症状が十分に改善せず、しびれなどの症状が残ることも少なくありません。年のせいで足元がふらつくと考えている方、脳梗塞のため手足がしびれる、めまいがおこると考えておられる方の中に比較的簡単な頸椎手術でよくなる方も非常に多いのです。心当たりの方は、脳神経外科を受診ください。高齢の方でも多数の方が手術でよくなります。

脊髄・脊椎疾患に対する診断機器も非常によくなりました。最近設置したMRIおよび3D-CTでは寝ているだけで頸椎・腰椎などの神経、血管の状態がはっきりと描出でき、病巣部を的確に診断することが可能になりました。頸椎・腰椎手術もできるだけ低侵襲の手術を行うようにしており、大多数の患者さんは手術翌日から歩行可能です。今後とも脊髄基幹病院の名に恥じぬようにがんばっていきたいと思います。(院長 脳神経外科 山田 博是)

介護教室を開催して

平成15年2月24日(月)～28日(金)までの5日間、当院の講義室で開催した介護教室を覗いて見ました。この日はすべて女性の方の参加でした。



【参加した60代の女性4人の声】

この教室を知人に紹介され参加した方と広報いざざわで知った方が参加していました。

参加の動機を尋ねて見ますと現在、ホームヘルパーの勉強をしている。一番上の姉が80歳近いので、何かあったときに私がお手伝いしたい。主人が自分より年上で何かあった時にお世話をしたい。昨年も参加したけどもう一度、学びたいと思った。参加してよかったことはオムツの取替えが簡単にできたこと。半身麻痺の人の移動ができたこと。体験をさせてもらい、お世話の仕方が自分なりにつかめたことなど、「この教室が毎日が短いと思うほど充実していた」と目を輝かせて語ってくれた。また、無料で「こんないい内容が聞けて嬉しいです」ともいっていました。

【担当看護師2人の声】

テクニックやアイデアを伝えるようにしている。高齢社会に突入した現在、このような教室は本当に必要だと思います。参加した人たちの喜びの声が聞けて明日へのファイトが湧いてくるので続けていきたい。



戦争を経験した女性達の夫に尽くす姿勢や姉妹思いのことばが聞けて、日本女性の和魂を垣間みることができ、ホットな気分になりました。

(広報委員)

稲沢市民病院 診療担当医師一覧表

平成15年8月1日現在

診療科名	時間区分	診察区分	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日	備 考
内科	午前	1 診	小林(泰) <内分泌>	奥山名誉院長 <内分泌>	桐山 <内分泌>	奥山名誉院長 <内分泌>	小林(泰) <内分泌>	
		2 診	福井 <循環器>	小林(茂) <循環器>	福井 <循環器>	小林(茂) <循環器>	福井 <循環器>	
		3 診	広瀬 <循環器>	斉藤 <消化器>	鶴飼 <消化器>	糟谷 <内分泌>	栗木 <消化器>	
		5 診	馬場 <腎>	宮川 <腎>	宮川 <腎>	山本 <腎>	宮川 <腎>	
		6 診	——	荒尾 <消化器>	佐々木 <消化器>	荒尾 <消化器>	長尾 <呼吸器>	
		7 診フリ-	栗木	糟谷	小林(茂)	福井	広瀬	
		8 診フリ-	服部	山本	小林(泰)	馬場	市川	
			午後 (予約制)	齊藤<消化器> 糟谷<内分泌> 宮川<腎>	福井<循環器> 鶴飼<消化器> 市川<内分泌> 桐山<内分泌>	栗木<消化器> 荒尾<消化器> 宮村<血液>	広瀬<循環器> 服部<消化器> 桐山<内分泌> (白木<腎>) 吉田<神経>	山本<腎>
小児科	午前	1 診	柳瀬	生田	柳瀬	藤巻	柳瀬	
	2 診	藤巻	生田	柳瀬	藤巻	生田		
	午後 (予約制)	予防接種	柳瀬・藤巻 <慢性外来>	1か月健診	柳瀬・生田 <慢性外来>	乳幼児健診 (第1週以外) <心臓外来> <神経外来>	(第1週) (第1、3、5週)	
外科	午前	1 診	上松	宮本	上松	秋山	宮本	
		2 診	西垣	住田	小児外科	西垣	住田	
脳神経外科	午前	1 診	山田院長	岩越	山田院長	丹羽	丹羽	
		2 診	——	——	岩越	——	——	
泌尿器科	午前		傍島	森川	傍島	加藤	傍島	
	午後		傍島	——	——	加藤	——	
整形外科	午前	1 診	今村	今村	橘	今村	橘	
		2 診	佐々	吉村	杉浦	吉村	吉村	
	午後 (予約制)		——	——	杉浦(リウマチ)	——	——	
皮膚科	午前	1 診	正木	正木	正木	正木	正木	
		2 診	中村	中村	中村	中村	中村	
	午後	2:00 ~ 4:00	中村	——	正木	——	富田(第1金:予約制)	
産婦人科	午前	婦人科	清野	加藤	片山	片山	加藤	
		産科	加藤	片山	清野	加藤	清野	
眼科	午前	1 診	池間	池間	池間	池間	池間	
		2 診	山下	山下	山下	山下	山下	
	午後 (予約制)		——	——	——	池間(網膜)	——	
耳鼻咽喉科	午前	初診・フリ-診	柘植	長島	柘植	山田	八木	
		予約診	八木	柘植	八木	八木	柘植	
	午後 (予約制)	予約学生診(3時~)	柳田(1時~)	1・3週 いびき外来 柘植、八木 2・4週 補聴器外来 柘植、八木	柳田(1時~)	——		
10 歯科・口腔外科	午前	初再診	石井 日下	日下 石井	日下 石井	鍋島 日下	石井 鍋島	



[市民病院 平面図 2F]

稲沢市民病院ニュース 第6号

発行日 平成15年7月16日発行
 発行元 稲沢市民病院 広報委員会
 492-8510 稲沢市御供所町1-1

ご意見をお待ちしています

電話 0587(32)2111
 ファックス 0587(32)2151
 電子メール hospital@city.inazawa.aichi.jp